

## 資料1

## 入間市旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議委員名簿

任 期：委嘱された日から旧黒須銀行保存活用基本計画の策定が終了する日

	氏 名	選出区分	選出団体等
1	アラマキ スミカズ 荒牧 澄多	文化財保護	入間市文化財保護審議委員会
2	ナカバヤシ アツコ 中林 敦子	博物館	入間市博物館協議会
3	ヒラタ カズオ 平田 和雄	文化財活用	入間市の文化遺産をいかす会
4	セリザワ イサム 芹沢 勇	豊岡・黒須地区	宮前町区長
5	サトウ マサユキ 佐藤 将之	学識経験者	早稲田大学准教授
6	タキザワ フミオ 滝沢 文夫	観光・商工業	入間ロータリークラブ
7	アマノ シンジ 天野 真治	黒須銀行関係者	埼玉りそな銀行・入間支店長
8	ハンダ ススム 繁田 進	黒須銀行関係者	重役の子孫(繁田本家の当主)
⑨	ハルナ キョウイチ 春名 恭一	公 募	
⑩	ハンダ ゴウ 繁田 剛	公 募	

※旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議は、旧黒須銀行保存活用基本計画の策定に関し、検討及び意見交換を行う機関です。

令和元年度 入間市旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議 担当職員名簿

	担当	職名	氏名	専門分野
入間市教育委員会		教育長	にしざわ やすお 西澤 泰男	
教育部		部長	あらみ てるあき 新見 輝明	
		次長	せきや かよこ 関谷 佳代子	
博物館		館長	かとう やすお 加藤 保夫	
		副館長	いしかわ かつみ 石川 勝己	
	学芸担当	主幹	かとう きみあき 加藤 公章	指導主事(博学連携担当)
		副主幹	つくい こういち 津久井 浩一	科学
		副主幹	おたべ いえひで 小田部 家秀	自然地理・歴史地理
		副主幹	みうら くみこ 三浦 久美子	民俗学
		主任	ひらた みつひろ 平田 光洋	近世・近現代史
		主事	かやつ ひでひろ 萱津 秀弘	
		嘱託専門員	あべ きよこ 安部 清子	茶文化・茶室
		パート	くどう ひろし 工藤 宏	近世社会史、日本茶業史、古文書学
	文化財担当	主幹	おおくぼ たかし 大久保 卓	考古
		主任	はせがわ なみ 長谷川 奈美	植生学
		主任(再任用)	さいとう ゆうじ 齋藤 祐司	考古、歴史
		主事補	いしい みなみ 石井 美波	考古
	指定管理者 いるまミュージアム パートナーズ	責任者	いいじま とおる 飯島 徹	
		副責任者	まみ しん ゆういつ 馬見新 佑一	
		統括責任者	おおばやし しげお 大林 茂男	

住所: 〒358-0015 埼玉県入間市二本木100  
 Tel: 04-2934-7711 Fax: 04-2934-7716  
 ホームページアドレス: <http://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>  
 Eメールアドレス: ir816000@city.iruma.lg.jp

入間市旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議要綱

(設置)

第1条 旧黒須銀行保存活用基本計画（以下「旧黒須銀行基本計画」という。）の策定に当たり、市民の意見を反映させるため、旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議（以下「市民会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 市民会議は、旧黒須銀行基本計画の策定に関し、検討及び意見交換を行う。

(組織)

第3条 市民会議は、委員10人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 知識経験者
- (2) 市内に在住し、在勤し、又は在学する者のうちから公募するもの
- (3) 前二号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱された日から旧黒須銀行基本計画の策定が終了する日までとする。

(会議)

第5条 市民会議は、教育長が招集し、教育部博物館副館長が会議の進行役となる。

(関係者の出席)

第6条 市民会議は、必要と認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(報償金)

第7条 市長は、予算の範囲内において、委員に報償金を支給するものとする。

(庶務)

第8条 市民会議の庶務は、教育部博物館において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この告示は、公布の日から施行する。
- 2 この告示は、旧黒須銀行基本計画の策定が終了した日に、その効力を失う。

■旧黒須銀行保存活用基本計画策定スケジュール

平成 30 年度	10月	○策定作業着手
	11月	●庁内検討会議開催(第1回)
	12月	●庁内検討会議開催(第2回)
	1月	●庁内検討会議開催(第3回)
	2月	●庁内検討会議開催(第4回)
	3月	●庁内検討会議開催(第5回) ●保存活用を考えるワークショップ
平成 31 年度	4月	●庁内検討会議開催(第6回)
	5月	●庁内検討会議開催(第7回)
	8月	○基本計画検討市民会議委員選定 ※市報8月1日号 委員公募記事
	9月	●教育委員会定例会で基本計画素案の協議①
	10月	●保存活用を考えるワークショップ ○基本計画検討市民会議の開催(第1回) *銀行・西洋館見学
	11月	●文化財保護審議委員会で基本計画素案の意見聴取
	12月	○基本計画検討市民会議の開催(第2回) *素案について①
	1月	○基本計画検市住民会議の開催(第3回) *素案について②
	2月	●黒須銀行120年記念講演会
	3月	○基本計画検討市民会議の開催(第4回) *素案について③
令和 2 年度	6月	●文化財保護審議委員会の意見聴取 ●教育委員会定例会の協議② ●関係各課確認依頼(基本計画(案))
	7月	○基本計画検討市民会議の開催(第5回) ●教育委員会定例会へ議案提出③ ○基本計画の成案
	9月頃	○基本計画の公表(報告会等)



## 旧黒須銀行の保存活用状況について

## 1 特別公開

平成 18 年度から特別公開を開始し、近年は年間 6 日程度行っています。基本的には西洋館の公開日に合わせての公開ですが、今年度は竣工 110 周年記念として単独で 2 日間実施し、繁田醤油や入間市の文化遺産をいかす会等の協力でイベントも開催しました (521 名来場)。通常の内容は、営業室と 2 階の公開および黒須銀行に関する展示とテーマ展示 (館蔵資料や写真、コレクター等)、パンフレットの配布、定時解説です。博物館ボランティア会等の協力で運営しています。近年増えている団体見学の希望には公開日以外も対応しています。

旧黒須銀行来場者数一覧

年度	公開日数	人数	内容	備考	
平成	18	1	135	近代化遺産全国一斉公開	特別公開開始
	19	1	220	近代化遺産全国一斉公開	
	20	1	157	近代化遺産全国一斉公開	
	21	1	183	近代化遺産全国一斉公開	
	22	3	457	春季公開、近代化遺産全国一斉公開	
	23	7	605	春季公開、アリットフェスタ特別展関連事業	
	24	6	1037	西洋館・旧黒須銀行同時公開	
	25	6	1201	西洋館・旧黒須銀行同時公開	
	26	7	634	西洋館・旧黒須銀行同時公開	
	27	3	495	西洋館・旧黒須銀行同時公開	緊急修繕のため日数減
	28	6	873	西洋館・旧黒須銀行同時公開	
	29	4	639	西洋館・旧黒須銀行同時公開	西洋館工事のため日数減
	30	6	636	特別公開、他団体見学9件含む	西洋館一般公開開始
	52	7272			

## 2 講座

定期的には行っていませんが、ALIT お茶大学公開講座として平成 28 年度に 1 度行い、今年度は創業 120 周年記念講演会を開催します。また昨年度は「保存活用を考えるワークショップ」を初めて開催したところ大きな反響があり (参加者 33 名)、今後協力したい方を募ったところ 13 名の申し出もありました。ワークショップは今年度も 10~11 月に開催します。

## 3 有志による建物の美化活動

定期的な除草や公開日前の掃除は職員で行っていますが行き届かない状況です。昨年度初めて市民を募集しての「大掃除会」を行ったところ、非公開の部分までかなりきれいになり、建物への愛着も感じてもらうことができました。これ以後、公開前の掃除には有志への協力呼びかけを行っています。また、毎年埼玉りそな銀行入間支店と藤沢支店による除草の協力もいただいています。

## 4 広報活動

平成 30 年度から広報いるま 1 日号に「黒須銀行物語」を連載中で、今年度は 2 月号に特集記事 (2 頁) も予定しています。今年 4 月には渋沢栄一ゆかりの黒須銀行を広報するため、繁田本家の協力で記者発表を行いました。

## 5 建物の修繕

平成6年に閉館後、移築構想があったため、壁の剥がれや雨漏りはビニールで覆う等の応急処置以外はしていませんでした。しかし移築の見通しが立たないまま腐朽が進んでしまったため、平成24年から雨水の浸透を防ぐための簡易的な修繕や通行人に危険がある部分の緊急修繕等を行っています。劣化の進行を抑えながら大規模修繕を待っている状態です。

## 6 基本計画の策定検討

平成30年度に庁内検討委員会を設置して、旧黒須銀行の保存活用の方角性を検討しました。これに基づいて「旧黒須銀行保存活用基本計画」を策定するため、今年度から市民会議を設置し、来年秋ごろに完成・公表する予定です。



## 旧石川組製系西洋館の活用状況について

## 平成30年度

7月から一般公開を開始し、延べ30日間で、来館者は3,002人だった。公開日は、1日3回スタッフによるガイドツアーを開催。ガイドツアーの充実のため、市民ボランティアを対象に「西洋館コンシェルジュ養成講座」を実施し、ガイドスタッフの育成を行った。また、来館者に建物の雰囲気を感じてもらえるように、館内に喫茶コーナーを設置した。

公開以外の事業としては、施設の魅力を十分に生かしたイベントを企画・開催し、多くの人へ西洋館をPRした。延べ参加者数は2,202人だった。

なお、施設の維持運営に必要な財源を得るために、建物の保護を図りながらも可能な限り撮影への貸出を行い、使用量収入の確保に努めた。

- (1) 一般公開 7月14日(土)～3月24日(日) ※第2・4土日曜中心。11～2月は冬季休館。  
 ※西洋館コンシェルジュ養成講座(全4回) 修了者 13人  
 ※喫茶コーナー運営(本館食堂) 【売上210,080円】

## (2) 主な事業

No.	事業名	期日	人数	備考
1	一般公開プレオープンイベント	5月3日(木・祝)	775人	入間市観光協会との共催
2	西洋館オープニングイベント	7月7日(土)	770人	
3	サロンコンサートin 西洋館	9月19日(水)	50人	文化創造ネットワークアミーゴとの共催
4	西洋館で聴くJazzレコード鑑賞会	10月21日(日)	100人	入間ジャズクラブとの共催
5	「入間に残る石川組製系の思い出」 (講座)	11月17日(土)	25人	
6	「旧石川組製系西洋館の建築的魅力」 (講演会)	11月23日(金・祝)	52人	
7	西洋館で聴く ～ユーフォニアムとピアノのコンサート	3月31日(日)	63人	

※ほかに公開日ミニコンサートの実施(2回)、公開日以外の団体見学の対応等を行った。

## (3) 撮影への貸出

27件、延べ44日間 【使用料収入6,180,000円】 ※平成30年度撮影使用分

## (4) 西洋館関係資料の製作・販売等

(7) 絵葉書(全16種類)【販売部数セットA121部、セットB65部、バラ215枚、売上75,850円】

(1) リーフレット 増刷5,000部×2回

## (5) 主な工事等

(7) 監視カメラ及び非常警報設備設置工事 1,053,000円

(1) 西洋館裏駐車場整備工事 102,600円

## 令和元年度

一般公開は延べ48日間。9月までの来館者は1,959人。公開日の1日3回のガイドツアーは、市民のガイドボランティア「西洋館コンシェルジュ」が主に対応。来館者からも好評とのご意見をいただいている。喫茶コーナーも引き続き営業を行っているが、今年度からはアイスコーヒーや狭山茶ペットボトルの提供を開始した。

今年度のイベントとしては、写真撮影をテーマにした写真講座や撮影会を実施し、西洋館の別の魅力をPRしている。なお、主催以外の共催事業については様々なジャンルの事業を受け入れることで、施設の新しい魅力の開拓と、運営手法について検証を行っている。

また、引き続き施設の維持運営に必要な財源を得るために、建物の保護を図りながらも可能な限り撮影への貸出を行い、使用量収入の確保に努めている。

- (1) 一般公開 4月13日(土)～3月29日(日) ※第2・4土日曜中心。11～2月は冬季休館。  
 ※喫茶コーナー運営(本館食堂) 【売上161,800円】

### (2) 主な事業

No.	事業名	期日	人数	備考
1	清水夕紀子ソプラノ& わたなべよし美ピアノのコンサート	4月20日(土)	90人	入間市の文化遺産を いかす会との共催
2	西洋館で聴くJazzレコード鑑賞会	5月19日(日)	65人	入間ジャズクラブ との共催
3	「天窓に咲いた花ばな ～琳派からアールデコまで」(講演会)	6月1日(土)	34人	
4	入間市西洋館の日2019	7月7日(日)	700人	入間市商工会との 共催
5	「西洋館を100倍上手く撮る方法」 (写真講座)	9月8日(日) 9月22日(日)	15人	
6	「ぬい撮りin西洋館」(撮影会)	10月5日(日)	12人	
7	西洋館・秋の茶会ー幻の茶室を偲んで	10月20日(日)	人	入間市の文化遺産を いかす会との共催
8	「石川組製糸と石川家の人々」(講座)	11月16日(土)	人	

※ほかに公開日ミニコンサートの実施(3回予定)、公開日以外の団体見学の対応等を行う。

### (3) 撮影への貸出 ※9月30日現在

16件、延べ29日間 【使用料収入3,670,000円】 ※令和元年度撮影使用分

### (4) 西洋館関係資料の製作・販売等 ※9月30日現在

(7) 絵葉書(全16種類)【売上47,150円】

### (5) 主な工事等

(7) 西洋館雨水流出防止設備設置工事 972,000円

埼玉県飯能県土整備事務所

所 長 小宮山 節 男 様

入間市長 田 中 龍 夫

鍵山歩道橋に関する要望について（案）

〇〇の候 貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、入間市における道路・河川行政において多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、標記歩道橋は、昭和45年に当時の「入間市立郷土民芸館」の入り口前に埼玉県により設置され、歩行者の安全に大きく役立っております。

郷土民芸館の建物は、平成2年に「旧黒須銀行」として、入間市指定有形文化財となりましたが老朽化のため、現在、復元修理工事について令和6年完成をめざして検討しているところです。完成後においては、黒漆喰仕上げの土蔵造り銀行としてよみがえり、隣接する繁田醤油店や長屋門と調和した歴史を受け継ぐ町並みを形成し、入間市のシティセールス戦略における地域資源の一つとして展開していく所存であります。

近年「旧黒須銀行」の特別公開日における見学者は、少しずつ増えておりますが、歩道橋が建物に近接しているため、見学者からも景観上そぐわないとの声が多く寄せられるようになりました。また、令和元年6月の入間市議会一般質問において市議会議員から、この歩道橋に対する改善要望があります。さらに、平成29年には、歩道橋から建物の屋根に乗り移られ、2階雨戸への落書き事件が発生しております。

ついては、別紙要望事項の実現について、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

【担 当】 入間市博物館 学芸担当 〇〇

TEL 04-2934-7711

## 要望事項

- 1 歩道橋の塗り直しをする際には、「埼玉県公共事業景観形成指針」第4「さらに良くするための工夫」(3)「周辺の景観資源の邪魔をしない工夫」のアに準拠して、修復工事後の建物の黒色に合わせた茶系やグレー系など、周囲と調和する色に変更していただきたい。  
なお、期限としては、旧黒須銀行の復元修理工事が完成する時期までをお願いしたい。
- 2 将来的には、同指針の第4(3)のイに準拠し、歩道橋を撤去して手押し信号に換えていただきたい。

以上

### 【添付資料】

資料1：令和元年6月議会 一般質問会議録〈抜粋〉

資料2：埼玉県公共事業景観形成指針